



慶應義塾大学ビジネス・スクール

株式会社サンプラネット Ⅱ)

サンプラネットの組織変革 真の合併をめざして

- 5 2002年春、サンプラネットの岡林功社長は文京の森がみえる社長室の窓から外を眺めつつ、考えていた。

「6社合併の準備期間である2001年が過ぎた。いよいよこの4月から新サンプラネットとしての歴史が始まる。独立していた各社を合併して1つの会社としての意識を育てたい。

- 10 2002年4月からの組織では、実質的には、従来の各社が事業本部へと変わった構造もっているに過ぎない。真に一つの組織として力を発揮していくためにも、2003年から組織を変えたい。しかしどのような組織にすればいいのだろうか。また真の合併による統合のために、組織構造の変化とともにどのようなマネジメントの仕組みが必要だろうか」

15 サンプラネット

株式会社サンプラネットは、エーザイ株式会社の国内子会社6社が合併した企業である。

- 20 エーザイ株式会社（本社：東京都文京区、社長：内藤 晴夫）は、日本の製薬業界の中においても代表的な企業の一つである。その国内子会社である「株式会社サンプラネット」、「株式会社精案社」、「タケハヤ株式会社」、「株式会社カワシマ商事」、「株式会社学園商事」、「株式会社エランド」が2002年4月1日に合併した。「株式会社サンプラネット」は、合併に先駆け、2001年4月に他の5社を統括する持株会社として設立されていた。合併により、合併各社の重複事業の合併や間接業務・システムなどの効率化を推進し、より一層のサービス

このケースは、株式会社サンプラネットの全面的なご協力の下、武蔵大学教授横田絵理と同教授米山茂美が行った調査結果を基に、クラス討議の目的のため横田絵理が作成した（2004年4月）。

本ケースは慶應義塾大学ビジネス・スクールが出版するものであり、ケースの複製等についての問い合わせ先は慶應義塾大学ビジネス・スクール（〒223-8523 神奈川県横浜市港北区日吉本町2丁目1番1号、電話 045-564-2444、e-mail case@kbs.keio.ac.jp）。また、ケースの注文は <http://www.kbs.keio.ac.jp/case/index.html>。慶應義塾大学ビジネス・スクールの許可を得ずに、本ケースのいかなる部分の複製、検索システムへの取り込み、スプレッドシートでの利用、またはいかなる方法（電子的、機械的、写真複写、録音・録画、その他種類を問わない）による伝送は、これを禁ずる。